

事務事業評価シート

令和 1 年度事後評価・決算

令和 3 年 2 月 22 日時点

事務事業名		コード	43100	健康づくり運動推進事業	予算科目	会計	款	項	目	事業種別	所管課	体育振興課	担当班	体育施設班
実施体系		基本施策	5	保健の充実	根拠法令	一般	10	5	2	☒ 主な事業				
		施策の展開	11	健康づくりの推進	戦略事業	51	健康づくり運動推進事業			☐ 国土強靱化地域計画				
		施策の展開	14	スポーツ施設の維持管理	戦略事業					☒ 新市建設計画				
										☒ 定住自立圏構想				
										☐ 主要事業				

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 9 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	●【旭市総合体育館2階トレーニングルーム】 開館9時～21時まで、月曜休館。会員は設備を使用して運動できる。①有酸素運動（呼吸しながら普通に運動 例：ウォーキング、エアロバイクなど）、②無酸素運動（例：筋力トレーニング）ができる。専門知識の豊富な指導員のもと、一人ひとりの体力に応じたトレーニングメニューの作成や健康相談等も行っている。利用料金 ・市内1時間200円（月極2,000円）・市外1時間300円（月極3,000円）で利用できる。1日最大3時間まで。高校生以上が利用可能。 ●【各種講座】 各種講座を開催して運動する習慣をつけ健康増進を図る。（R1年度：初級テニス教室、軽体操教室、レディースゴルフ教室、ヨガ教室、親子卓球教室）	・利用時間を増やしてほしい・3時間以上使いたい・1日に2回使いたい・本格的にやるには物足りない・利用者間のトラブルがある ・故障の修理に時間がかかる。（現在利用者登録は18,500人で、トレーニングルームの利用の上限は50人となっている。）
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	
総合体育館の開館時に体力向上・増進を目的にトレーニングルームを設置した。 この有効利用に、専門的知識を有したトレーニング指導員を配置することとなった。	特に、50歳代以上の健康と体力増加等に関心のある世代の増加が目立っておりまた、若い世代の利用者も近年増加している。全体的な傾向としては、「自己を鍛える」から「体力の向上・維持」への移行が見られる。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細（1年度の決算）		単位：千円
1. 報償金	367	スポーツ教室謝礼金
2. 消耗品	855	各種消耗品 等
3. 委託料	7,458	トレーニング指導員派遣委託料 等
4. 借上料	2,725	トレーニング機器借上料
5. 備品費	210	トレーニング関係機器購入
② 特定財源の内訳（1年度の決算）		単位：千円
1. 国庫支出金		
2. 都道府県支出金		
3. 地方債		
4. その他		

	単位	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	1年度 (決算)	2年度 (予算)
事業費	1. 報償金	千円 450	422	434	367	294
	2. 消耗品	千円 276	279	278	855	460
	3. 委託料	千円 6,998	7,230	7,373	7,458	7,525
	4. 借上料	千円 3,135	2,725	2,725	2,725	2,377
	5. 備品費	千円 2,983	3,163	3,326	210	
事業費計（A）		千円 13,842	13,819	14,136	11,615	10,656
財源	1. 国庫支出金	千円				
	2. 都道府県支出金	千円				
	3. 地方債	千円				
	4. その他	千円 1,960	2,112	2,521		
	5. 一般財源	千円 11,882	11,707	11,615	11,615	10,656

前年度増減理由	トレーニング機器（備品）の購入がなかったため
---------	------------------------

従事職員数 常時 人 最大 人 × 日 = 延べ 人

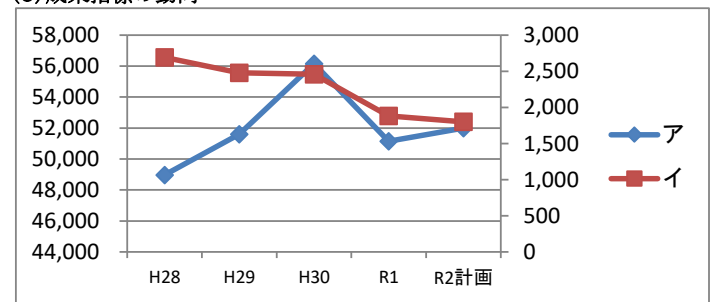
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (計画)
	1年度実績（1年度に行った主な活動） ・トレーニングルーム新規利用者講習会の開催 ・トレーニングルーム指導員による健康体力づくりセミナー開催 ・各種講座の開催（計5講座）	ア 講習会開催回数	回	255	254	264	223	270
目的	② 対象・意図（対象がどのような状態になるのか）	イ 各種講座開催回数	回	70	75	77	66	52
	対象意図 トレーニングルームを利用する市民 ・トレーニングルーム利用者が、定期的に運動を行い、自らによる健康管理と体力づくりを行う。 対象意図 ・日常生活において、運動するための知識を得る	④ 成果指標名	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (計画)
		ア トレーニングルーム利用人数	人	48,972	51,607	56,155	51,153	52,000
		イ 各種講座参加者数（延べ人数）	人	2,692	2,481	2,458	1,882	1,800

(4) 事務事業優先度評価の結果

①成果優先度評価結果			②コスト削減優先度評価結果						
		成果向上余地					コスト比率		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない			下位1/3	中位1/3	上位1/3
施策貢献度	大きい				評価結果	①			
	普通		⑤			②			
	小さい					③			
						④⑤	(4)		
						⑥			
					⑦⑧				
					⑨				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	☐ 完了	☒ 順調	☐ 概ね順調	☐ 停滞	☐ 実施困難
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	数値減＝成果向上	数値増＝成果向上
【コメント】 (低下の場合、その理由)					
③ 今年度取組事項 (2年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	拡大 縮小	現状維持 廃止・休止 見直し その他 ()
令和2年度	トレーニングマシンの適正管理。				